

日本文化の中心地 京都
その文化の礎を築いた天神信仰発祥の社

全国天満宮の総本社

北野天満宮

御祭神 菅原道真公（菅公） 中将殿（菅公御子息） 吉祥女（菅公御夫人）

創建 天曆元年（九四七）

由緒

当宮は御祭神に菅原道真公（菅公）をお祀りした全国天満宮・天神社約一万二千社の宗祀（総本社）の神社です。

今から千年余り前の村上天皇天曆元年（九四七）、御神託により平安京の北西（乾）の方角、「天門」に位置する聖地・北野に鎮座致しました。

「文道大祖 風月本主」と崇められた菅公は、「和魂漢才」の精神で誠の心を以って学業に勤しまれたことから、学問をはじめ至誠・芸能・農耕・災難・厄除など、人々の心の支えとなる靈驗あらたかな神として奉祀されています。

菅公薨去延喜三年（九〇三）より百年をかけて誕生した北野の天神信仰は、千有余年の長い歴史の中で、各時代の社会構造と相まって継承され、全国に伝播し、「天神さま」として庶民に至るまで信仰されています。

日本の中心地・京都、その文化の礎を築いた天神信仰発祥の社が北野天満宮なのです。